

会 議 録

平成 23 年 5 月 5 日調製

審議会等名	平成 22 年度 第 3 回図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	平成 23 年 3 月 18 日（金） 午後 2 時～午後 4 時
開催場所	三条市立図書館 2 階 視聴覚室
傍聴者の有無	有
出席者氏名	関委員長 宮島副委員長 小林委員 佐藤委員 丸橋委員 名島委員 西潟委員 六原委員 説明のための職員 金子生涯学習課長 長谷川生涯学習課主査 三巻文化振興係 主任 指定管理者 太向館長 高橋総括責任者 瀧澤業務責任者 佐藤副責任者 竹内副 責任者 村山副責任者
協議題	(1) 平成 22 年度 2 月までの図書館利用状況について (2) 平成 23 年度の事業計画について (3) その他
生涯学習課長	あいさつ
関委員長	それでは今年度最後の図書館協議会を開く。このメンバーでも最後になる。東北関東大震災が起こり、公立図書館も随分流された。古くなった本でもいいから寄付しようという運動が起きたら、ぜひ協力をお願いしたいと思う。それでは協議題について、館長お願いする。
図書館長	資料 No.1 に基づき、平成 22 年度 2 月までの利用状況について説明
関委員長	全体的に横ばい状態の中で、栄分館の利用が目立って伸びたということだが、今年度の利用状況について細かく説明してもらった。質疑等があればお願いしたい。
六原委員	漢学の里分室の入館者が 600 人程減っているということだったが、逆に前年度はなぜ多かったのか。
図書館 竹内副責任者	昨年度の統計を見ると、小さいお子さん連れの方が絵本を毎回 10 冊とか利用され、来館も多かったが、今年度はあまり来られなかったようである。
六原委員	今年も同じように絵本を置いていて半減したのは、何が原因だったのか。去年行ったイベントを行わなかったとか、考えられるか。
図書館長	特に原因は考えられないが、小さいお子さんが保育所などへ入所し、来館が減ったのではないかと思われる。また、漢学の里分室は諸橋轍次記念館の中にあるが、記念館自体は多くの事業を実施しており、来館者も増えていると思う。しかし、図書館分室の利用者は、必ずしもそれとは連動していない。
関委員長	本館・栄分館・下田分館と数字を並べて、平等に比較するのは無理がある。それぞれの地域で、図書館に差があると思う。それを勘案せずに数字だけで言うのは、図書館にとって酷ではないかという気がする。

小林委員	先日、9時半の開館時間に来たら、雨だったのに20~30人が待っていて、入口が開くやダッシュで入って行ったので、非常に図書館の人気の高さを感じた。子どもたちの利用については、学校がどのように指導するかも大きいと思う。
関委員長	<p>利用状況の報告だとどうしても数字の話になってしまうが、仕事はしっかり行っているのだから、自信を持ってやるべきだと思う。31パーセントという数字は、三条市の市民性から見て少ないのではなく、いい数字なのかもしれない。そこら辺の見極めが大事である。</p> <p>資料の貸出数が減っているのは本に魅力がないのではないかと、新しい本も入れているのだが、という話が出たが、そうかといって面白い本ばかりを入れてもバランスが悪くなってしまう。本館に来る人は、本を読みたくて来ている人も随分いるだろうが、時間つぶしの人、新聞を全部読む人、漫画本を熱心に見に来る人もいて、必ずしも全部の人が本好きではないと思う。</p> <p>やはり人を集める場所だから、何か事業と絡めるのがいい。市民も絵の個展をやったりしているが、丸橋委員さんも歴史か何かの読書会をやっているのではないかと。</p>
丸橋委員	自分の好きなこと、昔のことばかりしゃべるのも悪いと思うが、聞いてくれる人たちがいるので実施している。
図書館長	「郷土の史料を学ぶ会」といって、私どもの職員も何人が参加させていただき、勉強させていただいている。
丸橋委員	例えば図書館の本の題名だけを片っ端から見ても、三条の面白いものがたくさんある。だから、1階の鍵がかかるガラスケースの中に表紙が見えるようにして入れれば、皆さんにもっと知ってもらえると思う。ただ、郷土史関係に興味を持っているのは高齢の人が多く、図書館で見ただけでは頭に入らず借りていきたがるので、貴重な本は出せない。書き込みする人も多いので、よく考える必要がある。
関委員長	貴重なものがあるので、簡単に持っていけないよう、保管方法も大切だ。赤ラベルの禁帯出の本もたくさんある。僕もうっかりそれを借りようとして、借りられなかったことがある。
図書館長	赤ラベルの資料でも、目的等を伺い、必要に応じて貸出もしている。「赤ラベルだから駄目」ということはない。
宮島副委員長	そういう貴重な資料があることを、逆に宣伝してはいけないのだろうか。
丸橋委員	宣伝すると、書き込みとかをされるのが本当に心配だ。
関委員長	本を乱暴に扱う人も多いので、大切に読みましようとする必要がある。これもやはり図書館側の大切な仕事で、特に古い本はそうだと思う。今回、図書館は相当本を並べ替えたが、書庫から出した本もあるのか。ただ並べ替えただけか。ちょっと見慣れない本もいろいろ出たように思う。
図書館長	基本的には、中学生や高校生向けの本が1,000冊ほど新しく入り、「ティーンズコーナー」を拡大したために、書庫に入れた資料も多いと思う。しかし、棚の配置が大きく変わった関係で、今まで目につかなかった本が目につくようになったかもしれない。

関委員長	本音では、並び替えられるのは困るところもある。あそこだと思っていたのがなくなってしまって、30分ぐらいかかって見つけた。頭に入っている場所で探すから、いつも来ている人は困る。
丸橋委員	書誌関係の本が最近非常になくなった。どこかにあるのに出してないのか。
長谷川主査	古いものが多いので、3階の書庫に上がっているのではないかと。日常的に必要なものは、出しておくよう申し付けていただければお出しする。
図書館長	最近、書誌関係書の出版自体が多くない。
関委員長	そういう学問的な本は、奥の「参考調査室」になるべくまとめて置いてあるといい。
図書館長	今回ほど大がかりな模様替えは滅多にない。
西潟委員	10月に行った角野栄子講演会は、人があまり集まらなかったという話だった。この日は確か3連休の最終日で、そのあたりだと天気もよく、前の日に出かけると次の日は疲れてしまって、「またあしたから会社だから休もう」とってしまった人も結構いたのではないかと思う。
関委員長	あまり期待しないでやることだ。200人、300人で計画するのではなく、最初から「50人集まれば上出来」と思ってやる。これは絶望ではなく、励ましの言葉。そう思ってやれば、やれると思う。
丸橋委員	ちょっと聞きたいのだが、郷土史コーナーの近くに、三条のパンフレットのようなものがたくさんある。他へ置けばいいのではないかと。
図書館長	パンフレットといえども地域の資料を収集・保存するのは図書館としてもとても大切なので、開架には置かないとしても、収集・保管は今後も行っていく。
丸橋委員	3階の書庫にしまってあるものを出せない理由はあるのか。以前は利用できた。3階にあると利用できない。
図書館長	1階に置ききれないということに尽きる。請求いただければ出してくる。
丸橋委員	3階ももう満杯であまり本が入らないのではないかと。子どもの絵本とかは処分できないのか。
図書館長	児童書も貴重だ。
六原委員	古い絵本とか紙芝居は、今、図書館のボランティア担当の方たちが発掘してくれている。
西潟委員	先日下田公民館であった文化財の講演会も、参加者が多かった。仏像の衣の着せ方のようなものもあって面白かったが、講演会等と連動したコーナーを図書館でつくってみたいのではないかと考えた。
丸橋委員	3階の倉庫も、今入っているものを動かして、入れられるところをもっと確保しなければ、これ以上本が入らない。
関委員長	図書館は、会議とかに使える部屋はいくつあるのか。
図書館長	集会室3つと、視聴覚室である。
関委員長	栄分館はまだだいぶ棚が空いているのではないかと。近々本を入れるというような計画はあるか。
図書館長	現在は最上段が空いているが、蔵書の増加にともない徐々に入れていく。高く取りにくいということもあり、余裕があるうちは上段をあけている。

<p>関委員長</p>	<p>では、あまり使われない本を並べるのもいいかもしれない。 さて、参加者が減ってきているのでどうしたらいいかということで、あまり気にしないほうがいいのではないかという話だったが、どうだろうか。</p>
<p>名島委員</p>	<p>子どもの読書について話をしたいのだが、下田分館は本当に、何かやっても集まらない。やはり地域的なものがあるって、冬になれば親も車が出せないし、季節が良くなってもみんな畑仕事とかいろいろあって、仕方がないのかなと思っている。私はずっと学校に読み聞かせに行っていて、今年6年生が卒業するので1年から6年までやったプログラムをまとめてみた。その子たちには授業で28回おはなし会をやっていて、普段子どもたちから感想は聞かないのだが、最後の時「お手紙です」と言って、写真入りで一人ひとりが書いてくれた。いろいろな本との出会いがあったとか、想像力を働かせてお話を聞いたとか、私が受け取ってほしいと思っていたことを子どもたちが書いてくれたので、本当にうれしかった。だから、学校でボランティアをやっている人も、図書館でボランティア講座を受けた人たちも、学校との連携をもう少し持って、授業でやらせてもらえるようになったらと思う。三条の学校がどのようになっているかわからないが、自分の母校は10年目に入り、子どもたち全部におはなし会をやってるので、分館には来れなくても、大人になって自分で来れるようになったら、もう少し本との出会いが良くなるのではないかと、思いながらやっている。「図書館には来られない子どもたちのために学校で」というのはとても大事だと、私はやってきて本当に感じたので、お話しした。</p>
<p>関委員長</p>	<p>名島委員さんのおっしゃるとおり。子どもたちよりも前に本当は親があるのだが、今の親は若くて、新しい教育を受け字も読める人たちなのに、僕らの親とは随分違ってきていると思う。なかなか日々の生活が忙しく、普段見るのは雑誌ぐらいで、単行本になるとなかなか読めない。本によく接する親の子どもは、やはり本が大好きだ。自分がそうだったので。親とか身内とか、周りの人が大事なんだと思う。</p>
<p>丸橋委員</p>	<p>小学校や中学校は図書室はあるが、子どもたちは寄るのだろうか。</p>
<p>小林委員</p>	<p>使っている。名島委員さんや六原委員さんから、学校図書館審議委員会に出てもらったりして、子どもへの実際の指導等をしてもらい、本当にありがたいと思っている。今日は市の図書館の協議会だが、学校と市立図書館、やはり両方なんだろうなと思っている。私の学校では、保護者の方たちがボランティアをつくってくれていて、毎月朝読書の時間帯に各教室に入ってください、20分程度の読み聞かせを1年間続けてもらっている。子どもたちは非常に楽しみにしているし、名島さんのようにいろいろ語れる人は、読書の話ばかりではなく昔話の語り部をやってくださってもいい。毎月ローテーションでいろいろな方が来ているので、子どもも本当に本が好きだったり、本の世界に引き込まれたりしている。それから、ここの図書館からもブックトークとかいろいろな形で、学校に来てもらって支援を受けているが、担任だけでは足りないところ、学校図書館を週に1遍使ったり毎朝の朝読書とかをやっても足りないところを、そういういろいろな方に入ってもらうことで、本とのかかわりがより大きい子どもたちが昔よりも随分増えたと思う。年々盛んになっていると思うし、活字を通して学ぶということが浸透しているのではないかと思う。館長さんが1月の校長会で、4月から事業の情報を各学校便りに載せてくれと依頼され、小中学校で載せてもらうこ</p>

	とになっているので、いろいろな会の活動を紹介していきたいと思っている。今後も連携を取りながらやっていけると思うので、よろしくお願いします。
六原委員	例えば歴史の話とか郷土の話、子どもの絵本の話とか物語もそうなのだが、親が駄目だからという形ではなく、問題点に気がついて種をまく側の人間は、使命ほどではないが、そういう気持ちでまいているところがある。図書館ボランティア養成講座、読み聞かせ講座といったものも、種をまく人に見てもらいたい。その時に芽を出さなくても、いつかどこかで芽を出すかもしれないし、最初から「駄目だね」というのではなく、そういう気持ちでやっていくのが大事だ。丸橋委員さんもそうだが、郷土の話、歴史の話をよく知っておられる方が、機会があるごとに子どもたちや周りの方に語ってあげる、話すことで、種がまかれてどこかに根を張ったりするのかと、今話をされていて感じた。
丸橋委員	私も、最初に本を好きになった原因はわからないが、以前に、裏館のほうへスケッチに行ったとき、絵を習っていた人に「ここは昔、三条にお城があって、そのお城の名残だ」と教わって、それが歴史好きになったきっかけであった。
六原委員	どこに夢の種が落ちるかわからない。
関委員長	僕は本が好きだから、僕の孫もみんな好き。好きにさせた。やはり、「本を読むのは面白いんだよ」というきっかけを与えなければいけない。そのためには、いきなり三条の歴史みたいなものを読めと言っても、子どもにとってはつまらない。やはり小さい時から、面白い本を体験することが大切である。 それでは、23年度の事業計画の説明をお願いしたい。
図書館長	資料 No.2 に基づき、平成 23 年度事業計画について説明
関委員長	「子ども読書活動推進計画」の第 2 次ができ、それに沿って進めていくことが重点になる。質問とか要望はあるか。
宮島副委員長	今回「子ども読書活動推進計画」策定にかかわってあらためて見たせいか、事業計画の「基本方針」の文章がちょっとわかりにくいと思った。
長谷川主査	「基本方針」の 3 つの文章の 1 つ目と 2 つ目は、生涯学習課で所管している社会教育施設で同じ文言を使わせていただき、3 つ目についてはその施設なりのものを載せるという、共通の資料の作り方を昨年度からしており、この部分についてはご容赦願いたい。
宮島副委員長	ちょっとわかりにくい。もう少し短く、すっきりしていただければいいなと感じた。
長谷川主査	全体をカバーするために、こういう言い方になってしまっている。
宮島副委員長	図書館の目的とすれば、3 つ目が最初に来るべきではないかと思った。
丸橋委員	15 ページの広報・公聴活動の最後に、広報を出すと書いてあるが、現在は行事のお知らせが出ている。ぜひ「図書館便り」を出してもらいたい。図書館の職員がどうしているかを考えているかが我々にわかるようなものを毎月出してもらえないだろうか。今はそういうものが出ていないので、図書館の顔が見えない。

図書館長	子ども向けの「フィンダス」とか、お母さんにも見ていただく「親子で読書通信」を出しているが、確かに今は、一般向けの「図書館便り」は出していない。利用が伸びていないこともあり、情報発信は必要と思うが、ただ、これからの時代に旧来型の紙媒体でよいのか、よく協議して考えていきたいと思う。
六原委員	子ども読書活動推進事業で、「さんじょう親子読書の日」を、ぜひ本当に、使命感に燃えて宣伝したい。最近栄中学校の会議の最後にも宣伝させてもらい、「ぜひみんなで広めてください」とお願いしてきた。予算があればの提案だが、その日図書館に来た人が「何が始まったんだろう」と思うぐらいに、ピンクの旗とかを立てたり、お金がないのであれば布絵本で何か作ってもいいし、そのようにして「何が始まったんだろう」という形で外に向かって発信しないと、館内に入った人だけがわかって仕方がない。外にいる人がわからなければ広報にならないので、「三條新聞」の人に来てもらって記事にしてもらったり、そういう活動が必要なのではないかと思う。 それから、自動車文庫の回る先についてだが、小学校は多いが、中学校はどうなのだろうか。中学校の場合、来てもらっても困るものなのか。
関委員長	子どもが集まらない。小林委員さんもよくわかると思うが、子どもにいつ「本を読め」というのか。中学生は図書館へ来ないと言うが、授業が終わるとほとんどの生徒は部活に行ってしまう。図書館に来るのはお昼休みぐらいのものだから、授業で図書館を使うようにするしかない。だから、自動車文庫で行くとしても、その時間をよほど上手に取らないと、子どもは集まって来ない。そこが小学校と違うところだと思う。
六原委員	すでに行っている小学校にも今まで行ったことがない小学校にも、「枠が空いていますがいかがでしょう」と、率先して声をかけてみるのがいいのではないかと。栄北小学校は以前はなかったが、図書館のほうから「1つ枠があるんですが」と提案があり、お願いして来ていただいた。そんなふうに、今まで来たことがないところにも声をかけてみていただけたらと思う。
関委員長	もう一つ、中学校が小学校と違うところがある。例えば栄中学校の図書室も相当本が入っていて、市立図書館にはない本もある。だから、「もっと図書室に行って本を読め」「もったいないぞ」とつい言うのだが、なかなか時間がとれない。
図書館長	自動車文庫のことで、担当からちょっと補足をさせていただく。
竹内副責任者	中学校には声をかけていないが、今、下田の大浦小学校に声をかけていて、1学期の途中から増える可能性がある。昨年度は森町小学校に声をかけたが、集団下校の関係で「お昼休みなら」と言われ、あいにくこちらの空いている枠が放課後だったため、実現しなかった。そういうふうに、声はかけている。
六原委員	小学校の方は駆け引きも大事だと思うので、上手に吸い上げるようお願いしたい。
図書館長	なかなかタイミングが合わないということもあるようだ。

小林委員	この協議会の1回目があった後の校長会で、もらった資料を全校長に配って語りかけた。しかし、先ほどから言っているとおり、反応はなかなか。今出たようにピンポイントで、大浦小学校とか森町小学校、栄北小とか言うと、必ずそこはみんな応じてくれると思うが、23人の校長に向かって私が言っても、皆さん受け取れない。今言われたようにどこどこへ、というのが一番聞いてもらえると思う。私も投げかけをしてみるが、全体に対してはなかなか響かないようだ。
六原委員	子どもだけでは図書館に行けない地域を攻めるといいのかな、と思う。
関委員長	だから、ピンポイントはすごく大事だ。小林校長先生は、図書館のことを一番大事だと思って話してくださったと思うが、議題がたくさんあるので、校長先生方は頭がパンクしそうになりながら聞かなければならない。特に4月に来られた新しい校長先生の場合、山ほどあって時間が足りない。そういうようにいろいろな事情があるので、ピンポイントはすごく大事だと思う。
佐藤委員	うちの学校は昨年、朝、保護者による読み聞かせを始めた。それまではなくて、2ヵ月に1遍くらい昼休みにあったかどうか。また、先生方が月に1回くらい、朝読み聞かせをしたりしていたが、今年度は朝の時間に、まだ始めたばかりなので1回だが、保護者の方が各教室を回ってやってくださるようお願いした。その保護者の方が、市立図書館で本を選んでくださるのだが、その時に図書館の係の方からいい本をいろいろ教えてもらえるとおっしゃっていたので、すごくありがたい。来年からは2年目になるので、今後もアドバイスしていただけたらと思っている。
図書館長	ぜひご利用いただきたい。学校のほうで、例えばボランティアの先輩の皆さんから保護者の方々に何かレクチャーしていただくご希望とかがあれば、ボランティアさんたちに相談してみるので、声をおかけいただきたい。
関委員長	それでは終わりにしたいが、「その他」はあるか。
長谷川主査	1点報告させていただきたい。資料の「係の設置」というところの脇に線を引いてあるが、「生涯学習推進係ができます」というお知らせである。今生涯学習課は、文化振興係と文化財係の2つだけだが、新たに生涯学習推進係ができ、今まで文化振興係でやっていた生涯学習に関するものと、中央公民館の事業を統一して、新しい係でやることになる。図書館の担当は今までどおり文化振興係で行うことになっている。また、現在、生涯学習課は三条庁舎の1階にあるが、中央公民館と統合ということで、9月から中央公民館へ移動の予定である。
丸橋委員	文化財係はどうか。
長谷川主査	文化財調査室は、今までどおり大浦小学校の隣である。
関委員長	それでは、今日の会が2年間の最後の協議会になった。もし来期もなさる方がおられたら、よろしくお願いいたいと思う。どうもご苦労さまでした。